

「BOOKTRAIL」

Pubtex

商社丸紅グループの講談社、小学館、集英社が共同で設立したPubtex(渡辺順社長)は1月20日から、書籍トレーライティングシステム「BOOKTRAIL(ブックトレイル)」の商用サービスを開始した。書籍に装着した個体識別可能にするRFIDタグを連携することで、万能防止や販機機能などを駆使する。

現状はバイロット店の店頭に置かれており、来店客がタグを読み取ることで、購入履歴が記録される。

頭に置かれたタグの約40%、高い店舗では50%

多くの接客で有効活用が可能になると期待している。

本町本店(神奈川県横浜市)、大垣書店KOTO

hika御池店(京都府京都市)の店舗でRFID

活用が開始された。

KOTAKOも新規ミックで

活用が開始された。

本店は、書籍を購入するため

に多くの接客で有効活用が可能になると期待している。

本町本店(神奈川県横浜市)、大垣書店KOTO

hika御池店(京都府京都市)の店舗でRFID

活用が開始された。

KOTAKOも新規ミックで

活用が開始された。

本店は、書籍を購入するため

に多くの接客で有効活用が可能になると期待している。

本町本店(神奈川県横浜市)、大垣書店KOTO

hika御池店(京都府京都市)の店舗でRFID

活用が開始された。

KOTAKOも新規ミックで

活用が開始された。

本店は、書籍を購入するため

に多くの接客で有効活用が可能と期待して

いる。

経営陣が書籍を

活用するための開拓を進め

る。

これまで、書籍を購入するため

に多くの接客で有効活用が可能と期待して

いる。